



平成版ケンメリ最新バージョンはGT-RベースのGT-R!!

旧車をベースに、より新しいエンジンにスワップするモダン化モディファイは、決して珍しくはなくなったが、まったく逆の発想で、R32スカイラインにケンメリのボディをかぶたロッキーオートの「平成版ケンメリ」。ついにRB26DETT型を搭載するGT-Rベースの「GT-R」が完成した!

1,2従来のGT-Sベース車両に比べてトレッドは広がっているが、オーバーフェンダーでカバーできる範囲のため、タイヤ&ホイールサイズを適正化すれば車検も問題なく取得できる。また、ケンメリを再現したボディラインも崩れていない。3走りのポテンシャルはR32GT-Rそのものだが、120kgほど軽量化されているため、ハンドリングやブレーキング性能が向上している印象だ。もちろん乗りやすく快適でもある。



8ケンメリ独特のリアフェンダーからのラインも本物同様に再現されている。FRPボディゆえのゆがみやひずみもなく、キットカーのような安っぽさは皆無。9フロント周りの印象もケンメリそのもの。軽量のFRP製のフロントボンネットにはエアロキャッチ(ボンネットピン)が装着される。



GT-Rの証し RB26DETT搭載!

エンジンは名機と名高いRB26DETT型。2.6ℓ水冷直列6気筒DOHC+ツインターボで、最高出力280psを發揮する。エンジンは基本的にノーマルなので、故障診断用のOBD機能も使える。



NAのGTSベースに比べ発熱量が多いRB26DETT型搭載のGT-Rベース車ではボンネット後端にエアアウトトレットが設けられている。



4ベース車両がR32GT-Rであることを証明するコーションプレート。車両型式はBNR32、エンジンはRB26DETTと刻印されている。5リア周りの印象もケンメリそのもの。厳密にはR32のボディに合わせているため、ケンメリとは各部の寸法が若干違うのだが、それをまったく気づかせない自然さだ。6「平成版ケンメリ」のインテリアは基本的にR32のまま。GT-Rベースではもちろん、シートはGT-R純正品が付くが、希望により仕様変更も可能だ。



ロッキーオート・スタジオ

〒444-0003
愛知県岡崎市小見町字殿街道153
TEL 0564-66-5488
http://www.rockyauto.co.jp/

今春、屋内に100台展示可能なロッキーオートスタジオをオープンさせた同社。程度抜群の本物ハコスカGT-RやケンメリGT-Rを常時在庫する。完全予約制となるので来店の際は必ず事前予約のこと。

これまでエンジンスワップやマルチリンクサスペンションの移植まで行って、性能と快適性を飛躍的にアップさせた旧車をプロデュースしてきたロッキーオート。よりリーズナブルで、メンテナンス性にも優れ、乗りやすい「旧車」製作を突き詰めていった結果たどり着いたのが、R32スカイラインをベースに、ケンメリのフォルムを再現したFRP製ボディをかぶせる「ボディスワップ」という手法から誕生した「平成版ケンメリ」だ。

そんな平成版ケンメリに、このたびGT-Rをベースとした1台が加わった。まさにGT-R改GT-Rだ。

メカニズムはすべてR32GT-Rそのままだから、乗りやすさや信頼性、メンテナンス性は、現代のクルマそのもの。もちろんエンジンはRB26DETT型で、アテESA・TSの4WD。しかもFRPボディのため、オリジナリティも120kgほど軽量化されているので、加速やハンドリングもオリジナルのR32GT-Rを上回る感覚だ。

GT-Sをベースにした従来モデルに比べ、ワイドボディのGT-Rになって、ケンメリのフォルムは全く崩れていない点にも注目したい。



2



3

1 オリジナルを忠実に再現したボディラインは、本物と見まごうばかりの出来。このプロトタイプでは、ドライブトレインにハイブリッドユニットを搭載しているため、ルーバーが切っただけのフロントバンパー下部の処理は暫定的な仕様。最終的には、より自然な形となる予定。2 3 グリルやバンパー、モール、レンズ類なども、すべてオリジナルを忠実に再現したリプロダクトパーツが使われる。

1



かつてない完成度を誇る 2000GTレプリカ誕生!!

世界的なクラシックカーオークションでは1億円以上の値段で落札されることもあるトヨタ2000GT。わずか337台しか販売されなかった名車だけに、これまでも多くのレプリカが世に送り出されてきた。しかし、そんなレプリカ車両とは、一線を画す完成度の高さを見せつける1台が、今、誕生しようとしている!

PHOTO : KAZUHISA MASUDA/益田和久

COOPERATION : ROCKY AUTO STUDIO/ロッキーオートスタジオ

TEL 0564-66-5488 <http://www.rockyauto.co.jp/>



4



6



5



7

4 フロントフェンダーからリアフェンダーへのラインや、ルーフからリアへのラインも、オリジナルを忠実に再現している。2000GTのデザインアシスタントも担当した、チームトヨタキャプテンの細谷四方洋さんも太鼓判を与えた完成度の高さだ。5 プロジェクトを監修している細谷さんが、特にこだわったのが、フロントフェンダーのライン。特にタイヤハウスの上部付近で盛り上がる「峰」の部分だという。6 インテリアは未完成だが、ダッシュボードもオリジナルから型を採取したものを使用する。7 フロントから見た印象も2000GTそのもの。

トヨタ2000GTは、1967年に市販され、70年までの間に337台が販売されたにすぎない希少車だ。昨年、権威あるアメリカのクラシックカーオークションで1億円以上の値段が付けられて以来、2000GTの注目度は、世界基準で上昇している。そんな2000GTは、これまでもいくつかのレプリカが販売されてきたが、9月19、20日、愛知県名古屋市のポートメッセなごやで開催された「オートレジェンド」の会場で披露されたレプリカは、今までに見たどんなレプリカも寄せ付けぬほどオリジナルのボディラインを忠実に再現していた。その完成度の高いボディラインは、写真でご確認いただけると思うが、レンズ類やモール類も同様に、オリジナルを忠実に再現した部品が使われる。実は、この2000GTは、ハコスカ

チームトヨタ キャプテン 細谷四方洋さんも太鼓判

トヨタのワークスチームとして発足したチームトヨタのキャプテンを務めた細谷四方洋さんは、2000GTの開発に際して、ドライバーとしてだけでなく、デザイナーアシスタントとして実務にもかかわっていた。そんな細谷さんが、このトヨタ2000GTレプリカプロジェクトを監修している。ハイブリッドシステムを搭載していることから、「RHV(Rocky HV Special)」という命名を与えたのも細谷さんなのだ。また、RHVの実車には、細谷さんのサイン入りのコーションプレートが装着されるという。お披露目となったオートレジェンドでは、トークショーも開催された。

やS30Zなどの旧車に、新世代のインジェクションエンジンを搭載した快適旧車をプロデュースしてきたロッキーオートの製作。同社が最近手掛けている、R32スカイラインにケンメリのFRPボディを換装するという「ボディスワップ旧車」の手法を一步進めたコンプリートカープロジェクトだ。パイプフレームで製作したシャシーに、オリジナルを忠実に再現したFRP製ボディを載せ、1JZ型などの新世代エンジンを搭載した快適レプリカを製作するという具合だ。もちろんクラッシュテストなども行い、正式にナンバーを取得する。プロジェクトは、チームトヨタのキャプテンである細谷四方洋さん監修により着々と進行している。年明けには1号車が完成し、1月以降受注開始となる予定。本誌でも続報をお届けする。



オートレジェンド 2014



AUTO LEGEND 2014

2日間にわたり繰り広げられた クルマとロックンロールの祭典

●2014年9月20～21日／愛知県・名古屋市ポートメッセなごや

TEXT & PHOTO : NOSTALGIC HERO / 編集部



イベントの最後に、ステージで挨拶をするロッキーオートの波辺喜也社長。お疲れさまでした! 次回は、来年の9月20日の開催だ!



今回で5回目の開催となった「オートレジェンド2014」が、9月20、21日の2日間にわたり、名古屋市のポートメッセなごやで開催された。例年盛り上がりを見せるこのイベントは、国産旧車やスーパーカー、ドラッグマシンなど、多彩なクルマとロックンロールのライブを融合させたイベントだ。今回もライブステージは充実していて、大御所のクールスを筆頭に、コンニさんもゲストで登場、さらに横浜銀蠅も登場するとあって、ライブの時間になるとステージ回りには多くの観客が詰めかけていた。また、ステージイベントとしては、レジェンドドライバートの柳田春人さんと桑島正美さんによるトークショーが開催され、当時のレースの裏話や公表されていないエピソードなどが飛び出し、注目を集めていた。また、ローレルを所有する佐田さんと

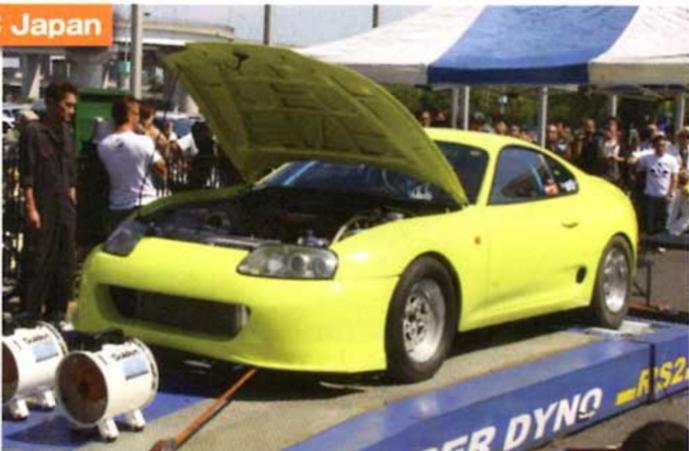
清人さんによるお笑いコンビ「パッドボーイズ」のお笑いライブでは、ステージの回りは大爆笑となっていた。会場を埋め尽くした展示車の中で、ひととき注目を集めていたのが、今回初お披露目となるロッキーオートが製作した「ロッキーHVスペシャル」だ。このクルマはハイブリッドの現代車をベースに、細部にまでこだわってトヨタ2000GTのスタイルに製作したもの。製作にあたってアドバイスを行ったチームトヨタのレジェンド細谷四方洋さんも駆け付け、トヨタ2000GTの開発秘話などを披露した。会場の外ではパワーチェックやドラッグマシンのライブエキゾーストノートが開催され、耳をつんざく爆音に圧倒される観客も多かった。2015年は9月20日に開催されることが決定。クルマ好きはぜひ足を運んでみよう!



会場の外には、焼きそば、カレー、ラーメン、ケバブなど、人気のB級グルメ屋台が並び、大盛況となっていた。

AVO/MoTEC Japan

屋外で開催されたパワーチェックに登場したAVO/モテックジャパンのスーパーは、「エンジンブロー覚悟で、シャシーダイを壊すつもりで来ました!」と気合い十分で挑戦し、1300psを達成!!



クールス with コニー、横浜銀蟻のライブステージ、
レジェンドドライバーのトークショー、
お笑いライブなど、大盛り上がりのステージ!



柳田春人さんと桑島正美さんによるレジェンドドライバートークショーでは、当時のエピソードを披露。絶妙な駆け引きは、息のあった熟練コンビのようでした。

貫禄のライブで、1日目のトリを飾ったクールス。来年は40周年で、アニバーサリーライブを開催予定。ゲストで登場したコニーさんは今年35周年。2日目の大トリは、横浜銀蟻のライブ。ヒット曲で大盛り上がり!!



お笑いコンビ「バットボーイズ」のステージは大爆笑! 佐田さんは、RB型エンジンを搭載した130ローレルをロッキーオートで購入するほど旧車好き。会場内のクルマもチェックしていた。



急ぎょ飛び入りで歌を披露した清水健太郎さん。新曲を販売するブースも出展していて、名曲「失恋レストラン」を熱唱してくれた。



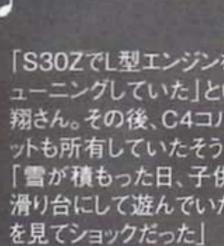
村山一海

「4ドアのハコスカGT-Rにあこがれていた」という村山さん。当時はバイクのほうにこだわっていて、ハーレーに乗っていたそうだ。40周年のライブは、大阪と東京での開催が決定!!



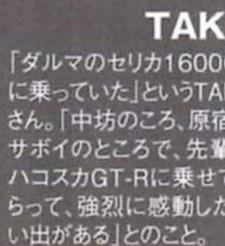
嵐ヨシユキ

「若いころはオレンジのギャランGTO 2000GSRに乗っていた。本当はMRに乗りたいんだけど、高くて買えなかった」と語ってくれた嵐さん。クルマの話をしてもらって、強烈に感動した思い出がある」とのこと。



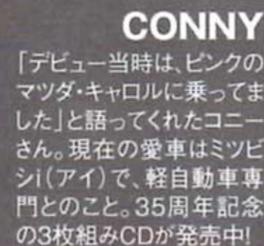
翔

「S30ZでL型エンジンをチューニングしていた」という翔さん。その後、C4コルベットも所有していたそうだ。「雪が積もった日、子供が滑り台にして遊んでいたのを見てショックだった」



TAKU

「ダルマのセリカ1600GTに乗っていた」というTAKUさん。「中坊のころ、原宿のサボイのところで、先輩のハコスカGT-Rに乗せてもらって、強烈に感動した思い出がある」とのこと。



CONNY

「デビュー当時は、ピンクのマツダ・キャロルに乗ってました」と語ってくれたコニーさん。現在の愛車はミツビシ(アイ)で、軽自動車専門とのこと。35周年記念の3枚組みCDが発売中!



オートレジェンドを彩ったオートレジェンドガールの4名。右から、関戸谷里沙さん、大川真代さん、奥田しおりさん、青木聡美さん。各ブースを回っての撮影は、終始大人気だった。

細谷四方洋トークショー



チームトヨタのキャプテン細谷四方洋さんが来場し、トヨタ2000GTの誕生秘話などをトークショーで披露。ロッキーオートが製作したHV版の開発にも関わっているようで、完成するのが待ち遠しいとのこと。

Rocky HV Special



細谷さんが名付け親となった「ロッキーHVスペシャル」。現代のハイブリッドをベースにトヨタ2000GTを製作。隣の本物の2000GTと並んでも分からないくらい!!

ロッキーオート



R32GT-Rをベースに製作された、平成版ケンメリGT-Rもお披露目。ツインターボのRB26DETT型エンジンを搭載し、4WD、マルチリンクサスを装備する。



①総生産台数197台のKPGC110のケンメリGT-R。ホイール以外はオリジナル。②シライシエンジニアリングでレストアされたという極上のKPGC10。エンジンもボディも良好なコンディション。③フェラー250GT0のレプリカ。本物はオークションで39億円で落札されたそうだ。④後期型の赤いトヨタ2000GTはオーナー車。白いロッキーHVスペシャルとで、前期と後期の紅白2ショットとなった。

Nostalgic Hero

Impressive Classic Car Magazine

ノスタルジックヒーロー



特別付録
ノヒロ特製
ハンドタオル

TOP ARTICLE ● 特集

When Coupes Were King

Vol. 166

クーペが輝いていた時代

コスモスポーツ / トヨタ2000 GT / ルーチェロータリークーペ / コンテッサ1300クーペ / スプリンタークーペ1600トレノ GT / いすゞ117クーペ

第2特集

サブロクとゆかいな仲間たち 再び!

スバルR-2 / ポーターバン / キャリイ / キャロル / スバル360 / ミニキャブトラック



注目記事

ノスタルジック2デイズ2015
開催決定!

全日本保護指定旧車協会
オート三輪チャイアント

ビンテージギャラリー
KP47スターレット・レース仕様

EVENT

オートレジェンド2014 / 第17回オールオッズナショナルズ / 熱海ヒストリカGP 2014 ほか

好評連載

レジェンド ● 追憶の瞬間 桑島正美
アメリカ発! ニッポン旧車の楽しみ方「カナダ編」
大貴誠のレディーバードの旅 旧中山道・木曾路に行く
HOT CLASSIX 510ブルーバード・ラリー仕様 ほか

●次号は2014年12月27日発売予定です

2014 DECEMBER

12